

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168－0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120－782－031（フリーダイヤル） 受付時間 9：00～17：00（土日休日を除く）
公告方法	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事情によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載 URL（ https://www.sunwa.co.jp/ir_info/index.html ）

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

サンワテクノ株式会社

東京都中央区京橋3－1－1 東京スクエアガーデン18F
TEL.03-5202-4011 FAX.03-5202-4054

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。





実現すべき長期ビジョンを社内外に発信し、 第11次中期経営計画「SNS2024」がスタート

代表取締役会長 兼 社長 田中 裕之

ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当期の事業環境につきましては、新型コロナウイルス感染状況の改善により、コロナ禍からの正常化が進んだことで内外需ともに持ち直しが見られ、新たな変異株の感染拡大の懸念はあるものの景気の回復が続きました。

そうした中で、当社グループの主力事業分野である産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界では、半導体・電子部品などの市場で設備投資が増え、最先端のものづくり分野の商品・ソリューションを提案・提供する当社として、自動化・ロボット化などのビジネスが伸長しました。また、コロナ禍からの正常化過程でのサプライチェーンの混乱において、当社が強みを持つサプライチェーンの機能・役割の重要性が高まり、お取引先様からも高く評価いただいています。当期も営業利益、経常利益共に前年同期を上回り、不確実な時代の中で当社事業の“耐性”が証明されたと認識しています。

当期の利益配当につきましては、株主の皆様への日頃のご支援に報いるべく、期末配当を1株当たり20円に増配し、中間配当(17円)と合わせ、年間配当を37円とさせていただきます。当社では今後も株主様への安定配当の継続を目指してまいります。

「NEXT 1800」の遂行過程で実証された強みと可能性

第10次中期経営計画「NEXT 1800」の最終年度では、本計画の数値目標を達成することができました。誌面を借りて改めて皆様に御礼申し上げます。計画の遂行期間を振り返ると、米中貿易摩擦やコロナ禍などの逆風下で当社の関連する業界はいち早く立ち上がりを見せたものの、半導体不足を皮切りに各種部品が不足し、サプライチェーンの世界的な混乱を招きました。

FA・産業機器、半導体製造装置関連の市場が堅調だったこと、中国経済が早期に立ち上がったこと、混乱するサプライチェーンで当社が長年実績を積んできたグローバルSCMソ

リューションの強みを発揮できたことが目標達成の主要因です。営業利益率の向上についても、販売管理費の管理徹底・抑制により一定の効果が出ています。

また、ICTを活用したリモートワークの浸透と、それとあわせたスマート営業所の稼働(現在国内5拠点)、コロナ禍への対応を機とした働き方の変化による労働生産性向上への意識の浸透など、ポジティブな変化が見られました。今後は、当社の伝統であるface to faceをベースとする顧客密着営業とリモートを組み合わせた新たなビジネススタイル、社員の働き方が浸透していくものと考えています。

「Sun-Wa Vision 2030」をグループで共有し「SNS2024」を戦略的に遂行

一方、2025年度に売上高2,500億円を目標とした「サンワビジョン2025」につきましては、不確実性の高い時代での市況や事業を取り巻く環境の変化にあわせ、新たに2030年に向けた長期ビジョン「Sun-Wa Vision 2030」としてスタートいたします。(4ページ参照)



「Sun-Wa Vision 2030」は「サンワビジョン2025」を引き継ぎ、当社のミッション(使命・存在価値)、ビジョン(目指す姿)、バリュー(ビジョンを実現するための価値観)をより明確化したものです。「世界中の技術をつなぎ、新たな価値を創造し、豊かな社会づくりを支える」というミッションのもと、未来に向けたビジョン、バリューを社内で共有するとともに、広く社外にメッセージとして発信し、企業価値のさらなる向上を目指します。

そして「Sun-Wa Vision 2030」の実現に向けた第1ステージとして、今年4月より第11次中期経営計画「SNS2024(Sun-Wa New Stage 2024)」がスタートしました。まず、経営目標については、「売上高至上主義からの脱却」、つまり最重要経営指標(KGI)を営業利益額にフォーカスし、2024年度営業利益70億円(売上高1,950億円)に設定しました。そして、目標達成に向けた基本方針を掲げ、顧客提供価値を高める施策として、従来の部店別というエリア展開に加え、「お客様の業界ごとにセグメント化した横串戦略による事業展開」も目指します。イノベーションが求められ、積極的にリソース投入する重要セグメントを半導体製造装置、ロボット・マウンター、工作機械とし、選択的にリソース投入するセグメントを車載、FA装置、設備としました。その強化策として、顧客セグメントごとに全部店を横断する実行組織「戦略セグメントチーム」を今年4月に発足し、明確な利益数値目標のもと高付加価値商品と新たなソリューションの提供に注力していきます。

企業価値向上の基礎となるサステナビリティ経営を強力に推進

「SNS2024」の基本方針の一つでもある「サステナビリティ経営」については、グローバル企業として方針と施策をより具体的に国内外へ発信することが必須となっていることから、サステナビリティ基本方針を掲げ、推進体制の充実を図って

まいります。コロナ禍で世界が一変する中、後世に明るい未来をつなぐために、世界のサプライチェーンを支える当社の企業活動を通じて持続可能な社会への貢献と、持続的な企業価値の向上を目指します。

SDGsの目標達成に貢献することに重点をおいた重点課題(マテリアリティ)をサステナビリティの視点で見直しを行い5つの重要課題を特定しました。(下図参照)

『地球環境の保全』の取り組みとしては、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)(※)の枠組みに基づく情報開示の質と量の充実を図ります。脱炭素社会へのアプローチとして、自社CO₂排出削減による環境負荷低減の取り組みと、販売を通じたCO₂排出削減による環境貢献で脱炭素社会の実現を目指します。また、当社が主催する技術セミナー「サンワテクニカルセミナー'21」においてもカーボンニュートラルをテーマにするなど、社会への発信力を高めていきます。



毎年全社員が受講している
AED社内講習風景

『多様な人材の育成と活躍推進』については、社内研修制度「サンワカレッジ」のプログラム充実に加えて、海外拠点のマネジメントをローカル社員が行うための研修体制を強化しています。一昨年から「グローバルネクストリーダー研修」を継続実施し、この3月には第一期生が修了しました。今後もこうした施策を地道に実行していくことが大切だと考えています。新事業を創出する「イントラプレナー(社内起業家)制度」も若手社員の活躍の場として定着し、多彩な成果を生み出しています。さらに、『健康で安心・安全な暮らしへの貢献』では、AEDの普及活動と社内講習を実施するほか、「健康経営優良法人(大規模法人部門)」の認定を2年連続で取得しました。引き続き社員の「健康づくり」を推進し、豊かな社会づくりに貢献してまいります。

今後も中国のコロナ対策、部材の入手難、為替変動、エネルギー価格の上昇やウクライナ情勢などを背景に不透明な景気状況は続きますが、当社では、全社員が「Sun-Wa Vision 2030」を共有し、第11次中期経営計画「SNS2024」の施策を確実に実行して、企業価値の向上と営業力・財務体質の強化を目指します。株主様におかれましては、今後も一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※ 金融安定理事会(FSB)により設置。財務に影響のある気候関連情報の開示を推奨する報告書を2017年6月に公表した。

— Sun-Wa Vision 2030 —

サンワビジョン2030



第11次中期経営計画 (2022年度～2024年度)



企業価値の向上
2024年度 営業利益70億円達成

経営目標〈連結〉

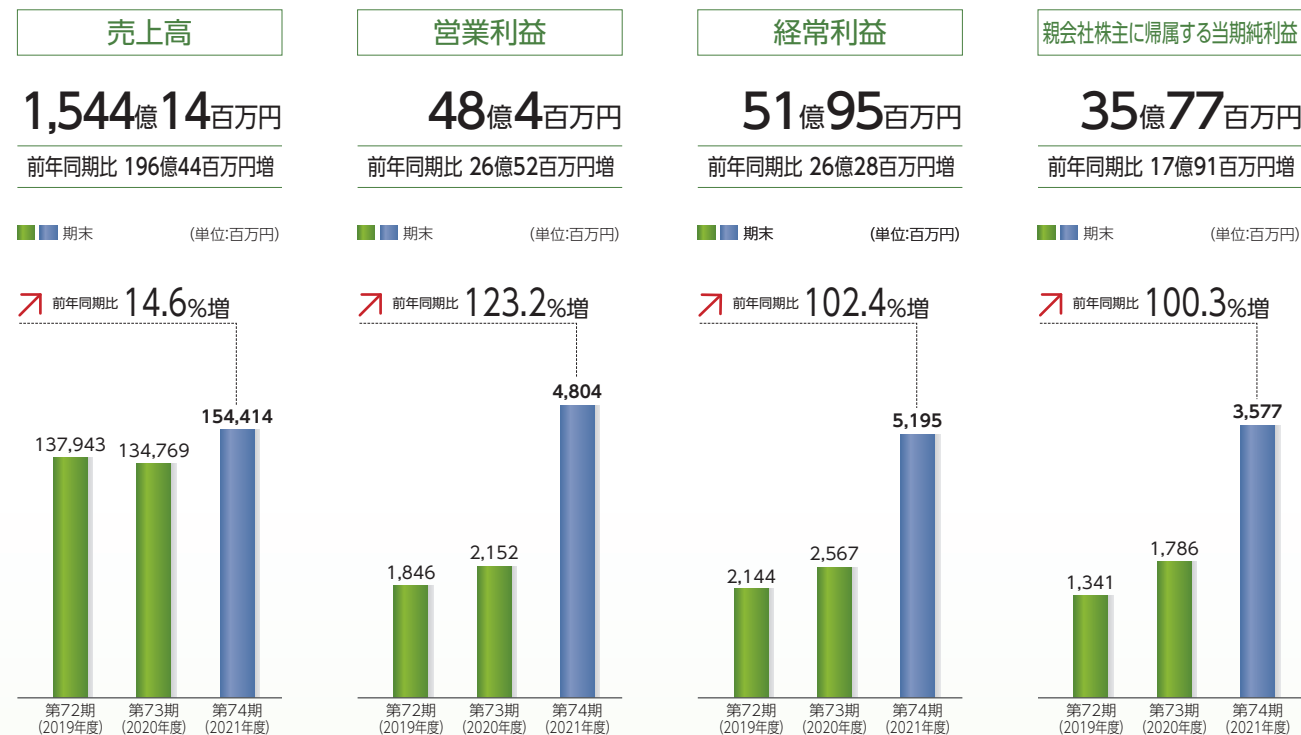
◆ 連結	営業利益額	営業利益率	売上高
2024年度目標	70億円	3.6%	1,950億円
2021年度実績	48億円	3.1%	1,544億円



基本方針

グローバルサプライチェーンのプロフェッショナルとして
“つながり”と“信頼”でものづくりの未来を支える

Challenge 01	イノベーションが求められる成長分野への注力 ●リソースを投入する顧客セグメントの特定 ●顧客セグメント別戦略実行計画の策定 ●戦略実行による売上総利益の向上
Challenge 02	より高付加価値な製品と新たなソリューションの提供 ●顧客セグメントごとに最適な製品・ソリューションの提供 ●DXによる業務効率化と提供価値向上 ●地域密着とグローバルネットワークで海外シェア拡大
Challenge 03	サステナビリティ経営による持続可能な社会の実現に貢献 ●サステナビリティ課題への取り組みを実効的に進める ●サプライチェーン全体で脱炭素社会に貢献する ●持続的成長を支える多様な人材の育成と活躍推進



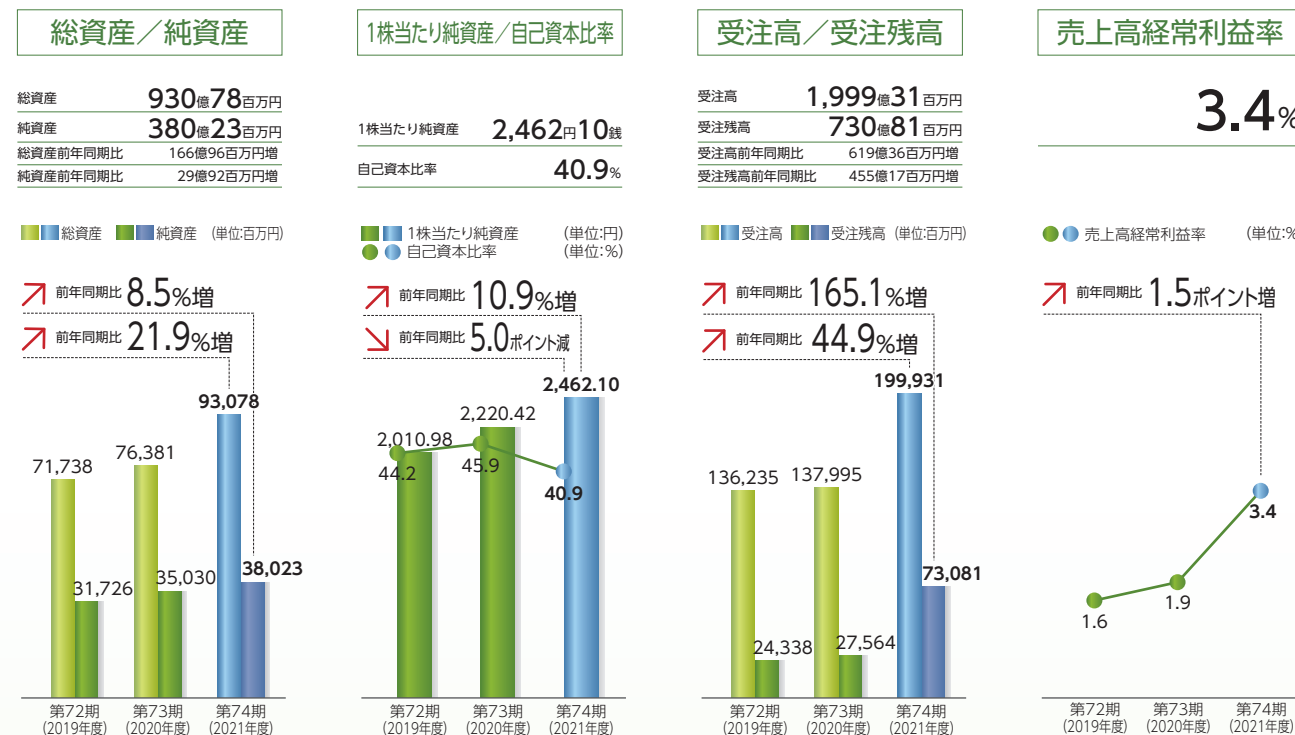
決算ハイライト

当連結会計年度における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大による各種制限が断続的に発出されたことで経済活動の抑制が続いておりましたが、コロナ禍からの正常化が進んだことで内外需ともに持ち直しが見られており、景気の回復が続いております。世界経済については、欧米においてはウィズコロナ体制への移行が進み、供給制約が解消しつつあり、景気の回復が続いております。また、厳格なゼロコロナ政策が続いている中国では、政府による政策展開が下支えとなり、景気の拡大が継続いたしました。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、半導体関連業界や産業機械業界を中心に設備投資が積極的に行われました。また、部材の供給不足による生産影響を考慮した先行手配などもあり、需要は総じて高い水準で推移いたしました。

このような環境の中、当連結会計年度の業績は、前年同期を上回る結果となりました。

(注) 第74期(2021年度)より「収益認識に関する会計基準」等適用後の数値を記載しております。



次期の見通し

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス用ワクチンや治療薬の普及によりコロナ禍からの正常化がより一層進むことで、景気の回復が続くとみられます。しかしながら、新型コロナウイルス変異株の出現や感染再拡大に対する各国政策による経済活動の制限、エネルギー価格の上昇、ウクライナ情勢の緊迫化の影響等により、景気に関する先行きは不透明な状況が続くと見込まれます。

第75期 通期業績予想

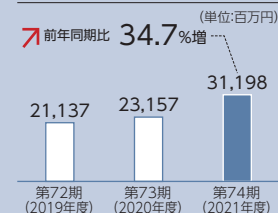
売上高	164,700百万円	(前年同期比6.7%増)
営業利益	5,000百万円	(前年同期比4.1%増)
経常利益	5,200百万円	(前年同期比0.1%増)
親会社に帰属する当期純利益	3,600百万円	(前年同期比0.6%増)
1株当たり当期純利益	233円11銭	

(注) 業績予想につきましては、2022年5月9日現在における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

電機部門



売上高
311億98百万円
前年同期比 80億41百万円増



電機部門では、産業機械業界向けの電機品及び制御機器、半導体関連業界向けの電機品、太陽光関連業界向けの電機品の販売が増加いたしました。

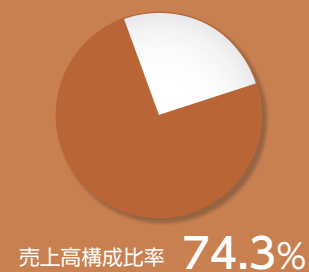
主な営業品目

ACサーボモータ、リニアモータ他各種モータ、インバータ、マシンコントローラ、マシンビジョンシステム、半導体製造装置用クリーンロボット・真空ロボット、パワーコンディショナ、受変電設備及び工事等

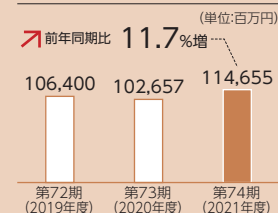


ACサーボモータ

電子部門



売上高
1,146億55百万円
前年同期比 119億97百万円増



電子部門では、産業機械業界向けの電子部品、半導体関連業界向けの電子部品、電子機器及びコネクタ、OA機器関連業界向けの電子部品の販売が増加いたしました。

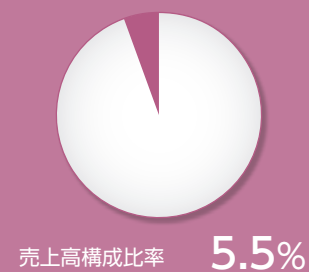
主な営業品目

電源、コネクタ、半導体、センサ、小型ファン、LED（発光ダイオード）、LCD（液晶ディスプレイ）、タッチパネル、産業用パソコン、CPUボード、メモリモジュール等の各種電子部品及び機器等

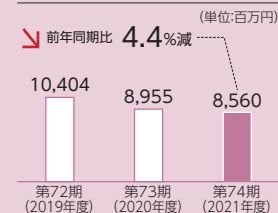


ダイオード

機械部門



売上高
85億60百万円
前年同期比 3億94百万円減



機械部門では、半導体関連業界向けの搬送機器、生活用品業界向けの設備機器の販売が増加いたしました。FPD関連業界向けの搬送機器の販売が減少いたしました。

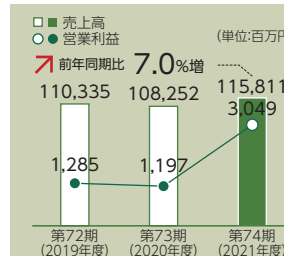
主な営業品目

半導体関連製造設備、産業用ロボット、液晶・パネル搬送用クリーンロボット、基板関連装置、物流搬送装置、風水力機器、空調・厨房設備、環境保護機器及び装置、各種検査装置、医療機器等



モバイルロボット

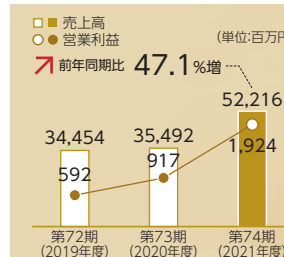
日本



売上高 **1,158億11百万円** (前年同期比 75億58百万円増)
営業利益 **30億49百万円** (前年同期比 18億52百万円増)

国内では産業機械業界向けの電機品、制御機器及び電子部品、半導体関連業界向けの電機品、電子機器、コネクタ及び搬送装置が増加いたしました。FPD関連業界向けの搬送装置の販売が減少いたしました。

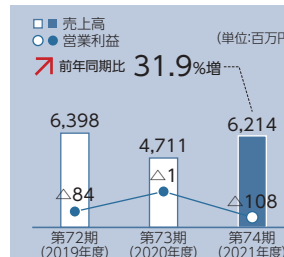
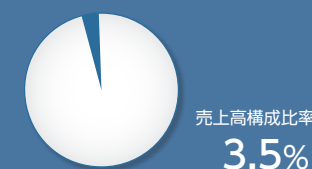
アジア



売上高 **522億16百万円** (前年同期比 167億24百万円増)
営業利益 **19億24百万円** (前年同期比 10億7百万円増)

アジア地域では、産業機械業界向けの電子部品、半導体関連業界向けの電機品及び電子部品、太陽光関連業界向けの電機品の販売が増加いたしました。

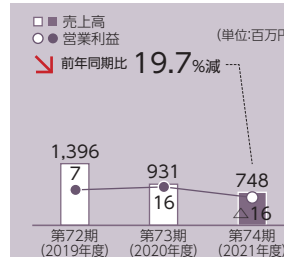
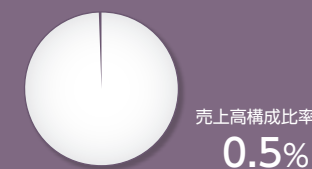
欧米



売上高 **62億14百万円** (前年同期比 15億2百万円増)
営業利益 **△1億8百万円** (前年同期比 1億7百万円減)

欧米では、産業機械業界向けの電子部品、生活用品業界向けの設備機器の販売が増加いたしました。輸送費高騰の影響を大きく受け営業損失となりました。

その他 ※



売上高 **7億48百万円** (前年同期比 1億83百万円減)
営業利益 **△16百万円** (前年同期比 32百万円減)

※「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

(注1) 売上高構成比率は外部顧客に対する売上高から算出しております。
(注2) 上記の売上高の数値につきましては、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む売上高で表示しております。

ヨーロッパ

SUN-WA TECHNOS (EUROPE) GmbH
フランクフルト

リュブリャナ

アメリカ・メキシコ

グリーンビル
(サウスカロライナ) シカゴ
ロサンゼルス ケレタロ
SUN-WA TECHNOS AMERICA, INC.
SUN-WA TECHNOS MEXICO S.A. DE C.V.

中国・香港・台湾

天津 大連
上海 上海メカトロセンター
蘇州 厦門 杭州
深圳 広州 台北
香港 香港物流センター
台中 台南

SUN-WA TECHNOS (H.K.) CO., LTD.
SUN-WA TECHNOS (TAIWAN) CO., LTD.
SHANGHAI SUN-WA TECHNOS CO., LTD.
SUN-WA TECHNOS (SHENZHEN) CO., LTD.

ASEAN

ハノイ マニラ
バンコク ホーチミン
ペナン クアラルンプール
シンガポール
ジャカルタ

SUN-WA TECHNOS (SINGAPORE) PTE LTD.
SUN-WA TECHNOS (MALAYSIA) SDN.BHD.
SUN-WA TECHNOS ASIA (THAILAND) CO., LTD.
PT. SUNWA TECHNOS INDONESIA
SUN-WA TECHNOS (PHILIPPINES), INC.
SUN-WA TECHNOS (VIETNAM) CO., LTD.

国内

サンワテクノス株式会社

長岡営業所
長野営業所
北陸営業所 (富山市)
金沢営業所
京都支店
関西支社
大阪支店
姫路営業所
広島営業所
福岡支店
熊本営業所
長崎営業所
九州サービスセンター
北九州営業所
大分営業所
四国営業所 (新居浜市)
東京西支店 (八王子市)
北関東支店 (さいたま市)
東北営業所 (仙台市)
本社
関東支社
東京サービスセンター
横浜支店
沼津営業所
甲府営業所
名古屋サービスセンター
浜松営業所
三河支店 (刈谷市)
名古屋支社
三重営業所 (四日市市)

サンワトリニティ株式会社

サンワロジスティック株式会社

各拠点の住所と連絡先は当社ホームページ「拠点」をご覧ください。

<https://www.sunwa.co.jp/>

サンワテクノス 検索

連結貸借対照表

(単位：百万円)		
科目／期別	前期 2021年3月31日現在	当期 2022年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	64,430	82,209
固定資産	11,951	10,868
有形固定資産	2,590	2,230
無形固定資産	170	226
投資その他の資産	9,190	8,411
資産合計	76,381	93,078
(負債の部)		
流動負債	36,372	52,797
固定負債	4,978	2,257
負債合計	41,350	55,054
(純資産の部)		
株主資本	30,802	33,277
その他の包括利益累計額	4,228	4,746
純資産合計	35,030	38,023
負債及び純資産合計	76,381	93,078

連結損益計算書

(単位：百万円)			
科目／期別	前期 2020年4月1日 2021年3月31日	当期 2021年4月1日 2022年3月31日	
売上高	134,769	154,414	
売上原価	120,545	135,642	
売上総利益	14,224	18,772	
販売費及び一般管理費	12,071	13,967	
営業利益	2,152	4,804	
営業外収益	522	493	
営業外費用	107	102	
経常利益	2,567	5,195	
特別利益	7	82	
特別損失	62	54	
税金等調整前当期純利益	2,513	5,223	
法人税、住民税及び事業税	815	1,759	
法人税等調整額	△ 88	△ 113	
当期純利益	1,786	3,577	
親会社株主に帰属する当期純利益	1,786	3,577	

(注) 当期より「収益認識に関する会計基準」等適用後の数値を記載しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)			
科目／期別	前期 2020年4月1日 2021年3月31日	当期 2021年4月1日 2022年3月31日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,589	792	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 141	244	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 309	△ 580	
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 77	478	
現金及び現金同等物の増減額	1,061	935	
現金及び現金同等物の期首残高	11,568	12,629	
現金及び現金同等物の期末残高	12,629	13,565	



会社の概要

(2022年3月31日現在)

商号	サンワテクノス株式会社
本社所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン18F
設立年月日	1949年11月4日
資本金	37億2,700万円
発行済株式の総数	16,044,000株
従業員数	588名（連結1,039名）
ホームページ	https://www.sunwa.co.jp/
事業内容	メカトロニクス関連電気機器及び装置、プラント用電気品、電気設備機器の販売及び電気設備工事
	各種電子部品・電子機器、各種OA機器、FAシステム、通信・情報機器等の販売
	半導体関連製造設備、産業用ロボット、クリーンロボット、基板関連装置、物流搬送装置、風水力機器、各種検査装置、医療機器等の販売

株式の状況

(2022年3月31日現在)

1. 発行可能株式総数 33,380,000株
2. 発行済株式の総数 16,044,000株
3. 株主数 4,235名
4. 大株主

株主名	持株数株	持株比率%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,522,100	9.85
光通信株式会社	1,179,500	7.63
株式会社安川電機	797,280	5.16
第一生命保険株式会社	729,960	4.72
株式会社オリジン	498,000	3.22
オークマ株式会社	435,600	2.82
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	425,500	2.75
山田 益二郎	397,400	2.57
株式会社りそな銀行	395,160	2.55
株式会社三菱UFJ銀行	395,160	2.55

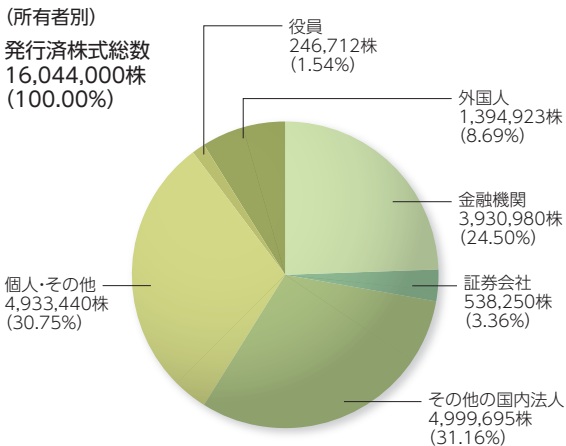
(注) 当社は自己株式(600,439株)を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。また、「持株比率」は自己株式を控除して計算しております。

役員

(2022年6月24日現在)

取締役 代表取締役会長兼社長 社長執行役員 代表取締役専務執行役員 取締役常務執行役員 取締役上席執行役員 取締役執行役員 社外取締役 社外取締役 取締役(常勤監査等委員) 社外取締役(監査等委員) 社外取締役(監査等委員)	田中裕之 松上平越 草坂花中 上	中尾野後 窪本山村 野	裕晶秀隆 洋一敦一 康	之 八 男 啓 子 郎 八 男 啓 治 彦 也 幸 成 司
執行役員 上席執行役員 執行役員 執行役員 執行役員 執行役員	高宮玉西 的遊	松崎木田 場佐	賢一克勝 孝浩	

5. 株式の分布状況



■ 事務所開設（北九州営業所）のお知らせ

当社は、このたび以下の通り北九州営業所を開設いたしました。

- 【名 称】サンワテクノス株式会社 福岡支店 北九州営業所
 【所在地】〒806-0021 福岡県北九州市八幡西区黒崎3-1-7 アースコート黒崎駅前BLDG7階
 【開設日】2021年12月16日（木）
 【お問い合わせ先】福岡支店 TEL：092-761-2063 FAX：092-713-5224



■ 事務所移転（福岡支店、東北営業所）のお知らせ

当社は、このたび以下の通り事務所を移転いたしました。

福岡支店

- 【名 称】サンワテクノス株式会社 福岡支店
 【新住所】〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-10-20 天神ビジネスセンター5階
 TEL：092-761-2063 FAX：092-713-5224
 【業務開始日】2022年4月18日（月）



東北営業所

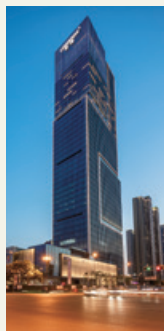
- 【名 称】サンワテクノス株式会社 関東支社 北関東支店 東北営業所
 【新住所】〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央2-2-6 三井住友銀行仙台ビル9階
 TEL：022-264-2901 FAX：022-261-4574
 ※TEL・FAX番号の変更はございません。
 【業務開始日】2021年12月13日（月）



■ 海外子会社事務所移転（蘇州事務所）のお知らせ

当社海外子会社において、このたび以下の通り蘇州事務所を移転いたしました。

- 【名 称】珊華電子科技（上海）有限公司 蘇州分公司
 SHANGHAI SUN-WA TECHNOS CO., LTD. Suzhou Office
 上海サンワテクノス 蘇州事務所
 【新住所】中国江蘇省蘇州市高新区金山東路79号蘇州龍湖中心2901、2906室
 Room 2901、2906, LONGFOR Center, No.79 East Jinshan Road,
 Gaoxin District, Suzhou, Jiangsu 215010, P.R.C.
 TEL：(+86) 512-6805-5618 FAX：(+86) 512-6805-5628
 ※TEL・FAX番号の変更はございません。
 【業務開始日】2021年12月27日（月）



■ 2022年度 サンワテクニカルセミナー'21 を開催

当社のお取引先様に最新技術を紹介する技術セミナー「サンワテクニカルセミナー'21」を2022年5月11日（水）に東京国際フォーラムで開催いたしました。

『現場主体のDX戦略でカーボンニュートラルを実現する』をテーマに、株式会社安川電機様、出光興産株式会社様よりご講演をいただきました。

また、主催者講演として田中社長が登壇し、当社のカーボンニュートラルの取り組みについて講演いたしました。

今回の関東地区のセミナーを皮切りに、名古屋・大阪・福岡でも順次開催する予定です。

当社では、今後もお客様のお役に立てる最新・最先端の技術情報をご紹介します。



■ 2年連続で「健康経営優良法人」に認定

当社は、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に2年連続で認定されました。

健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。

当社は、2018年6月1日に「健康経営宣言」を制定するとともに、以下の取り組みを行っています。

- （1）多様な働き方に対応する勤務体制
- （2）全社員を対象にしたストレスチェックの実施
- （3）健康関連イベントや、食生活の改善、運動機会増進の取り組み

今後も、社員の健康増進に向け継続的に健康経営を推進し、企業としての持続的成長を目指してまいります。

